

取扱説明書

複合型火災・都市ガス警報器

(不完全燃焼警報機能付)

型式：C F－W 2

空気より軽い 12A、13A ガス用 (家庭用・業務用兼用)

複合型火災・都市ガス警報器

(不完全燃焼警報機能付)



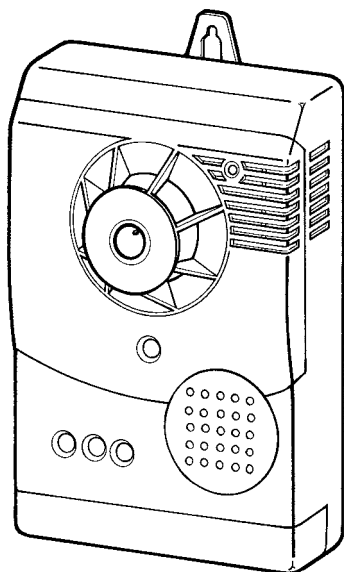
TOHO GAS

CF-W2 型式名 XZ-193GK-1

お客さま用

取扱説明書 (財)日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

保証書付



- この警報器は炎等の熱を感知して警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知センサ部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が動きません。また、火災の発生を未然に防止する装置ではなく、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

- 複合型火災・都市ガス警報器 (不完全燃焼警報機能付) をお取付けいただきありがとうございます。
- この取扱説明書は複合型火災・都市ガス警報器 (不完全燃焼警報機能付) の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。
- 本取扱説明書 (保証書付) は、取付け後もお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。
- 本書を紛失された場合は、販売店または最寄りの東邦ガスにお問合せください。
- この警報器は、都市ガスやCO (一酸化炭素) を感知して警報を発するものです。ガス検知部に都市ガスや一酸化炭素が到達しない場合は、ガス漏れ警報機能や不完全燃焼警報機能が動きません。また、ガス漏れや不完全燃焼の発生を未然に防止する装置ではなく、ガス漏れや不完全燃焼による損害を防止することを保障するものではありません。ガス漏れや不完全燃焼などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 1. 警報器をご使用になる皆様へ	1
■ 2. 対象ガス	2
■ 3. 各部の名称と働き	2
お客様用	
■ 4. 主な特長	4
■ 5. ご使用上の注意	6
■ 6. 予備コンセントの使用方法	9
■ 7. 使 用 方 法	10
■ 警報ランプと音声警報音	11
■ 8. 「ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください」と 火災警報を発している場合の処置 (火災警報ランプ (赤ランプ) 点灯)	12
■ 9. ガスもれ警報ランプ (赤ランプ) または黄ランプが点滅している場合の処置	13
■ 10. 「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」とガスもれ警報を発して いる場合の処置 (ガスもれ警報ランプ (赤ランプ) 点灯)	14
■ 11. 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて 換気してください」と 不完全燃焼警報を発している場合の処置 (黄ランプ点滅または点灯)	16
■ 12. ガスもれの警報音声と不完全燃焼を知らせる警報音声を交互に発している 場合の処置 (ガスもれ警報ランプ (赤ランプ) と黄ランプの点滅または点灯)	18
■ 13. 火災、ガスもれ、不完全燃焼 (CO) 以外でもランプが点滅したり警報が鳴る場合	20
■ 14. ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表	21
■ 15. 警報器を取り付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い	23
■ 外部機器連動対応表	26
■ 16. 警報器のお手入れ方法	27
■ 17. アフターサービス	28
■ 18. 仕 様	29
施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ	
■ 施工される方へのお願い	30
■ 19. 設置前のご注意	31
■ 警報器の確認	31
■ 収納部内部にある切替スイッチの確認	31
■ 20. 取付け位置の確認	32
■ 21. 取付方法	34
■ 22. 作動点検	37
■ 警報音声確認ボタン	41
■ 外部装置と接続した場合の注意点及び点検方法	42
■ お客様へのご説明内容	43
■ お客様への周知事項	43

■ 1. 警報器をご使用になる皆様へ

警報器を安全に正しくお使いいただき、また、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

■お守りいただきたい事項の種類を以下の絵表示で示しています。

	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「火気厳禁」事項を示しています。
	「接触禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」事項を示しています。
	「必ず行う」事項を示しています。

■ 2. 対象ガス

⚠ 注意

- この警報器は都市ガス（空気より軽い12 A・13 Aガス）及び一酸化炭素（燃焼排気ガス中のCO）専用の警報器です。
- 都市ガス（空気より軽い12 A・13 Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

■ 3. 各部の名称と働き

①電源ランプ（緑）

- 電源を入れてから約30秒間、緑ランプが点滅します。
（都市ガスセンサの安定時間）
- その後、約1分間、緑ランプがウインク（1秒間に1回瞬時消灯）します。
（不完全燃焼ガスセンサの安定時間）
- 通常は緑ランプが点灯しています。

②ガスもれ警報ランプ（赤）

- 都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。（1段目の注意報）
- 都市ガスが規定濃度以上になると、赤ランプが点灯します。（2段目の警報）

③不完全燃焼警報ランプ（黄）

- 不完全燃焼ガスを検知すると、黄ランプが点滅します。（低濃度の注意報）
- 不完全燃焼ガスが規定濃度以上になると黄ランプが点灯します。
（高濃度の警報）

④火災警報ランプ（赤）

- 火災による熱を感知すると、赤ランプが点灯します。

⑤警報スピーカ（音声合成音）

- 購入時は音声設定となっています。
（ブザー設定を要望される場合は東邦ガス販売員に申してください。）

●都市ガスのガスもれ警報時には

（ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか）が鳴ります。

※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピッピッピッピッ）のみの警報が鳴ります。

●不完全燃焼警報時には（ピッポッピッポッ 空気がよごれて危険です窓を開けて換気してください）が鳴ります。

※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピッポッピッポッ）のみの警報が鳴ります。

●火災警報時には（ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください）が鳴ります。

※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピーピー）のみの警報が鳴ります。

⑥警報音声確認ボタン

- 警報音声確認ボタンを1秒間押すと、警報音声発生・ランプ表示・外部出力などを行います。

⑦ガス検知部（都市ガス、不完全燃焼ガス）

⑧火災検知部（熱感知）

⑨電源プラグ

- 予備コンセントは最大1490Wまでの電気器具を使用できます。

⑩電源コード

- 長さ2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能）

⑪外部出力接続コネクタ

- 警報器本体と外部出力線（ガスもれ、CO警報外部出力コネクタ・火災警報外部出力信号線）とを接続します。

⑫ガスもれ、CO警報外部出力コネクタ（白・灰）

- 戸外ブザー等に接続する時に使用します。接続する場合は、コネクタをご使用ください。

⑬火災警報外部出力信号線（赤・白）

- 住宅情報盤等に接続する時に使用します。接続する場合は、ギボシ端子等をご使用ください。

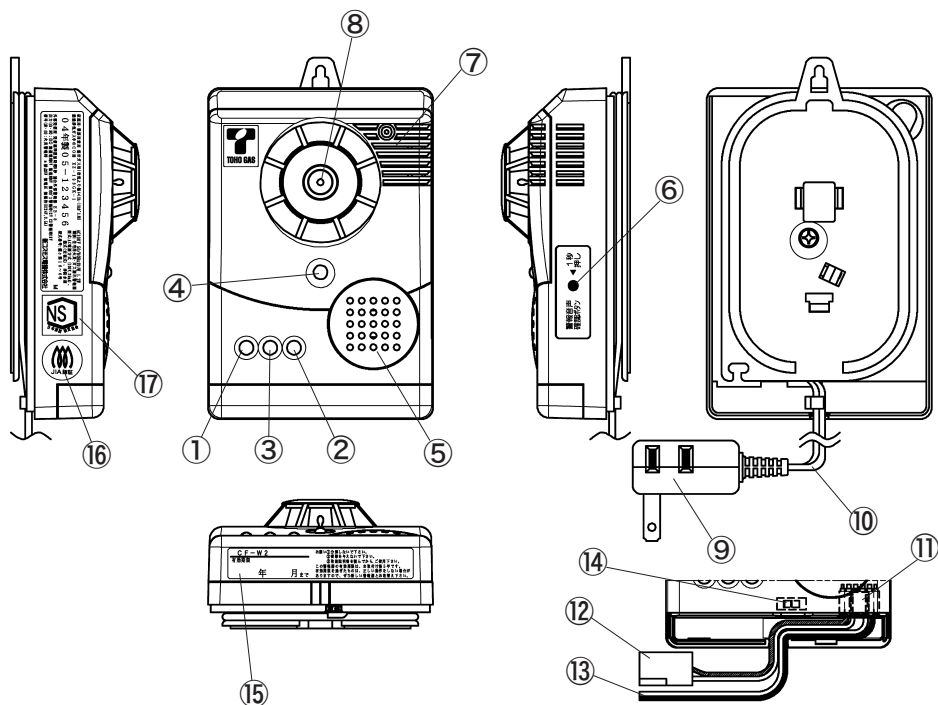
⑭音声・ブザー切替スイッチ

- 警報音を音声またはブザーに設定できます。

⑮有効期限表示ラベル

⑯検査合格証

⑰鑑定合格証票



■ 4. 主な特長

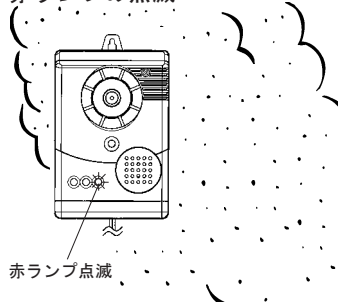
■ ガスもれ・不完全燃焼警報機能

● 都市ガスがもれた場合

警報器周囲の都市ガス濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

1 段階（注意報）

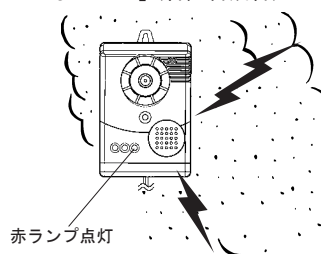
赤ランプの点滅



赤ランプ点滅

2 段階（警報）

赤ランプ点灯とガスもれ警報音
「ピッピッピッピッ ガスがもれて
いませんか」（音声合成音）



赤ランプ点灯

● ガス機器の不完全燃焼が発生した場合

警報器周囲の一酸化炭素（CO）濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

低濃度（注意報）

黄ランプの点滅

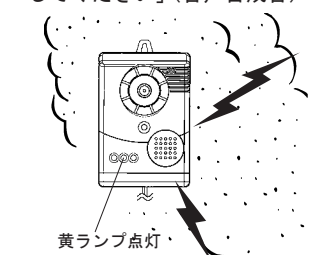


黄ランプ点滅

一酸化炭素濃度が低濃度の場合でも約5分間継続して検知した時は黄ランプは点滅のまま、高濃度の警報音が鳴ります。

高濃度（警報）

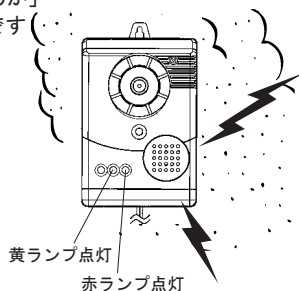
黄ランプ点灯と不完全燃焼警報音
「ピッポッピッポッ 空気がよ
れて危険です 窓を開けて換
気してください」（音声合成音）



黄ランプ点灯

● 都市ガスがもれて同時にガス機器の不完全燃焼が発生した場合

赤ランプおよび黄ランプ点灯と交互に警報音声
「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」
「ピッポッピッポッ 空気がよごれて危険です」
窓を開けて換気してください
（音声合成音）



黄ランプ点灯

赤ランプ点灯

■ガスもれ・不完全燃焼警報連動機器との接続

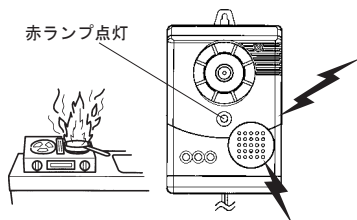
- 住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。
- 戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品（別売品）をご使用ください。
- マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品（警報器アダプター）が必要になります。

■火災警報機能

- 火災による熱が発生した場合

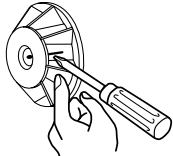
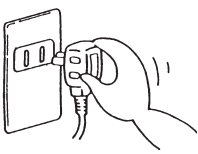
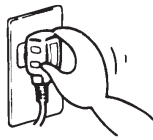
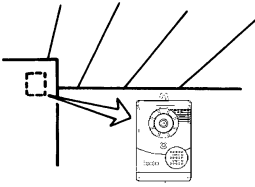
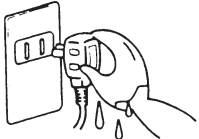
警報器周囲の温度が約65℃以上になると、右のように作動します。

赤ランプ点灯と火災警報音「ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください」（音声合成音）



- 住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。
- マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

■ 5. ご使用上の注意

⚠ 警告	
●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いをしないでください。(故障の原因となります。)	🚫 分解禁止 
●火災検知部のガードの中にある熱感知センサにはさわらないでください。(火災を検知しなくなる恐れがあります。)	🚫 禁止 
●警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。(通電していないと火災が発生していても、またガスもれ、不完全燃焼していても警報音声を発しません。)	🚫 禁止 
●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。(ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。)	⚠ 電源プラグ は確実に シッカリと！ 
●電源コードにはステップルや釘等を打たないでください。(火災の原因になります。)	🚫 禁止 
⚠ 注意	
●警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり取付けたりしないでください。(警報の遅れの原因となります。) 警報器の位置を変える必要が生じた場合は、最寄りの東邦ガスに依頼してください。	🚫 移動禁止 
●ぬれた手でプラグおよび予備コンセント部分にさわらないでください。(感電する恐れがあります。)	🚫 ぬれた手で さわらない 

⚠ 注意

- 日常、電源ランプ（緑）が点灯していることをお確かめください。

電源ランプ（緑）が消灯している場合は下の表をご確認ください。

また電源ランプ（緑）が※¹高速点滅している場合は警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。

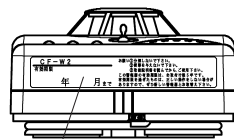
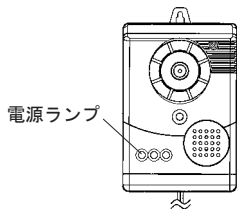
- 警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限の表示ラベルが貼ってあります。有効期限は、お取付け後5年間です。

期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。

尚、警報器を設置してから、5.5年が経過すると電源ランプ（緑）が※²ゆっくり点滅します。

警報器の有効期限が過ぎていることをお知らせしていますので、販売店に連絡してください。

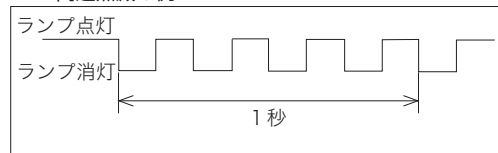
- ❗ 確かめる



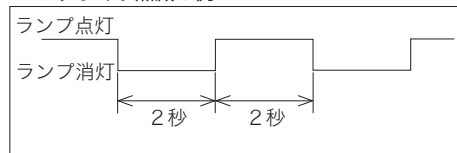
電源ランプ（緑）が消灯している場合の原因と処置

原 因	処 置
・電源コードのプラグのはずれ ・停電 ・電源ブレーカーが切れている ・警報器の故障	・電源プラグを差し込む ・ブレーカーを入れる ・販売店に連絡する

※1 高速点滅の例



※2 ゆっくり点滅の例



注意

- この警報器は、お取付けいただいた場所近くでのガスもれや一酸化炭素（ＣＯ）には警報を発してお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれや一酸化炭素（ＣＯ）では警報を発しないことがあります。
- この警報器は熱を感知して警報を発するものです。火災の防止装置ではありません。
- 警報器を取付けていない部屋は、火災の監視はできません。
- 浴室、屋外では使用できません。
- 警報器の近くでラジオ等を使用されると、ラジオ等にノイズ（雑音）が増える場合があります。その様な場合は、警報器からすこし距離を離してご使用ください。

※停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから都市ガス警報機能は約30秒間、不完全燃焼警報機能は約1分30秒間は作動しません。
なお、約30秒後に赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると赤ランプが消灯します。

※この警報器には、取り付け時の作動点検の際に外部機器との連動確認を容易にするため、有電圧出力信号をホールドする機能が付いています。電源を入れてから4分以内にガスもれまたはＣＯ警報が鳴ると、ガスが無くなり警報音が止まっても、電源を入れてから4分を経過するまで出力信号の警報状態が保持される機能です。

停電が復帰した後や、電源を入れ直した後、4分の間に警報音声が鳴った場合もこの有電圧ホールド機能が働きますので、外部機器と連動されている場合はご注意ください。

電源を入れてから4分が経過しますと通常の監視状態に戻ります。

※殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。

※警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません。（通電によりセンサ部を加熱して使用するため。）

※業務用等で使用される大鍋で湯をわかす際、点火初期時にＣＯが発生し、ＣＯ警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。

※調理や、空調の熱により警報音が鳴る場合があります。

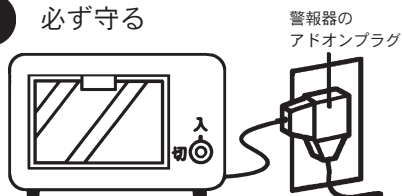
■ 6. 予備コンセントの使用法

⚠ 注意

- 警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。

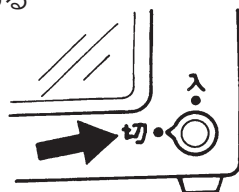
ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。

- ❗ 必ず守る



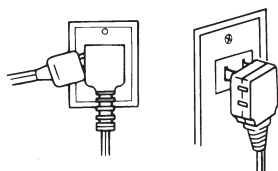
- 警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切 (OFF)」にしてください。

- ❗ 確かめる



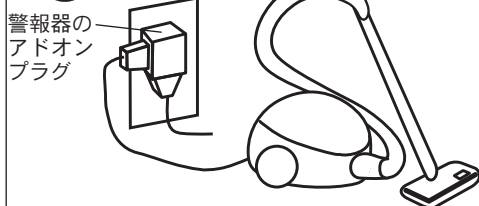
- 警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が過熱し、焼損する場合があります。

- ⊘ 禁止

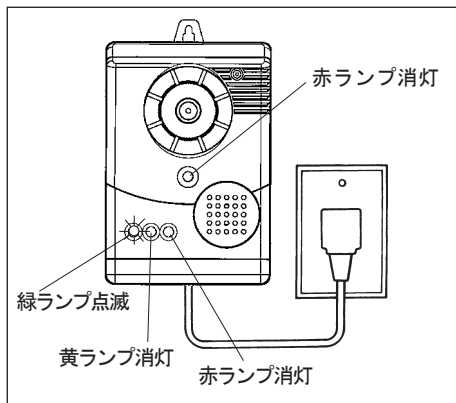


- 警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります。（例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。）

- ⊘ 禁止



■ 7. 使用方法



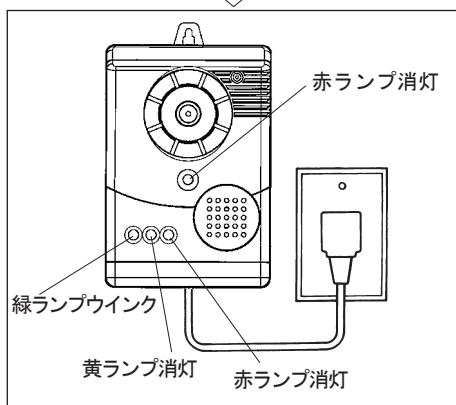
- ①警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の動作

緑ランプが点滅します。

警報器が作動状態に入る準備タイムです。(火災警報は作動します。)

※電源投入時、緑ランプが少しちらつくことがありますが無異常ではありません。



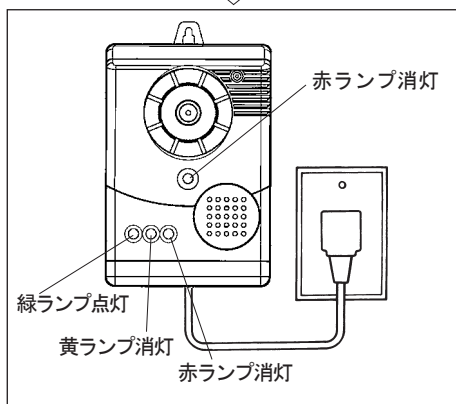
(電源に接続してから)

- ②約30秒後

警報器の動作

緑ランプ点滅から、ウインク(1秒間に1回瞬時消灯)表示に変わります。

(都市ガス警報は作動します。)



(電源に接続してから)

- ③約1分30秒後

警報器の動作

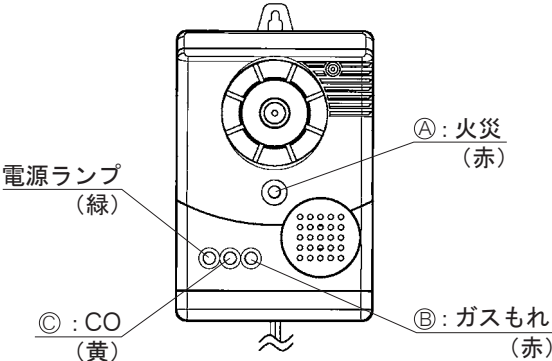
緑ランプが点灯して監視状態に入ります。

■警報ランプと音声警報音

	警報状態			警報ランプ	警 報 音
	火災	ガスもれ	CO		
単一検知	○			(A)	ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください
		○		(B)	ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか ※ 1
			○	(C)	ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください ※ 2
複合検知	○	○		(A) (B)	ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください(火災警報優先)
	○		○	(A) (C)	ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください(火災警報優先)
		○	○	(B) (C)	※ 1 と ※ 2 を交互に発声
	○	○	○	(A) (B) (C)	ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください(火災警報優先)

- ・警報ランプはそれぞれ独立して点滅又は点灯します。
- ・警報音は火災警報を優先しています。
- ・警報音は切替スイッチにより、音声、ブザー音の切替が可能です。
ブザー音にした場合、以下の警報音が鳴ります。

火 災 : ピーピー ...
 ガスもれ : ピッピッピッピッ ...
 C O : ピッポッピッポッ ...

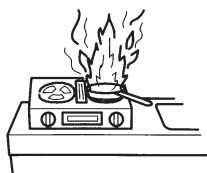


■ 8. 「ピーピー火災警報器が作動しました確認してください」と火災警報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯）

●次の処置をしてください。

1. 火元の確認をしてください。

！ 確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

！ 連絡する
消火する

- 119 番への通報
- 初期消火

！ 閉める

天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



3. 避難してください。

！ 避難する



※外部機器と連動している場合は、P26 外部機器連動対応表をご参照ください。

■ 火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の熱などで火災警報を発している場合は、ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）の点灯、点滅の有無を確認してください。

！ 確認する

●ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）が点灯又は点滅している場合は、P13、P14の処置を行ってください。

！ 処置する

※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガスもれ及び不完全燃焼警報は発しません。

■ 9. ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕または黄ランプが点滅している場合の処置

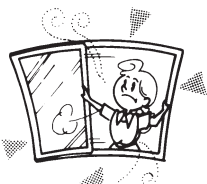
■ ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）または、不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）（黄ランプ）が点滅している場合の処置

- 漏れた都市ガス濃度がうすい場合、ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕が点滅します。（1段目の注意報）
- 一酸化炭素（CO）濃度が低い場合、黄ランプが点滅します。（低濃度の注意報）

● 次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



室内の空気がよごれた場合にも、赤または黄のランプが点滅する場合があります。（「火災、ガスもれ、不完全燃焼（CO）以外でもランプが点滅したり、警報が鳴る場合」をご参照ください。P20）

※外部機器と連動している場合
外部機器は作動しません。
（警報音を発していない場合）

■ 10. 「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」 とガスもれ警報を発している場合の処置 (ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険 火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど
火気は使用しないでください。



火気禁止



換気扇、電灯、蛍光灯その他の
電気製品のスイッチを入れたり
切ったりしないでください。



禁止



換気扇の
スイッチ等

警報器のプラグをコンセントから
抜かないでください。



禁止

コンセント

抜かない

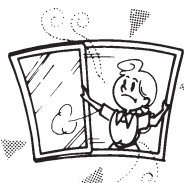


●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。



開ける



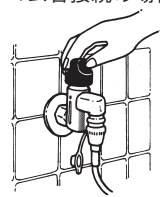
2. ガス栓、器具栓を閉めてください。

ガスコード接続の場合
コンセント継手のす
べりリング（白色）
を手前に引く

ゴム管接続の場合



閉める



3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りの東邦
ガスへご連絡ください。



連絡する



4. ガスがなくなれば、警報音は自動的に止
まりますので、止まってからガスもれの
原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管
のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち
消えなどが考えられます。



調べる



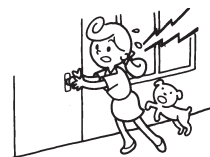
●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点
検を受けてください。(有償)

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアをあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

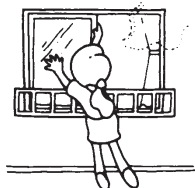
⊘ すぐの入室禁止



●次の処置をしてください。

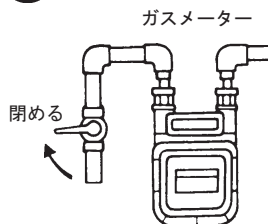
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、あけ放して換気をしてください。

⚠ 外から開ける



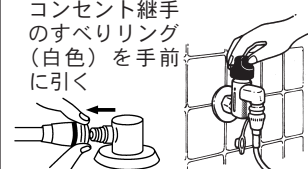
2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

⚠ 閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ガスコード接続の場合 ゴム管接続の場合



⚠ 閉める

※外部機器と連動している場合は、P26 外部機器連動対応表をご参照ください。

■もれたガスがなくなった場合

●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、赤のランプが消灯します。

■ 11. 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置(黄ランプ点滅または点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

- 警報音が鳴り始めたらすぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 換気をせずにガス機器を使用しつづけると、一酸化炭素（CO）濃度が上昇し短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

●次の処置をしてください。

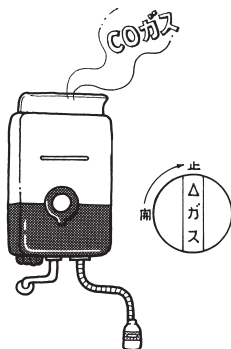
1. ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。

❗ 止める



3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りの東邦ガスへご連絡ください。

❗ 連絡する



- たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器が原因で鳴る場合もありますので、これらの機器も点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

●一酸化炭素(CO)濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

●次の処置をしてください。

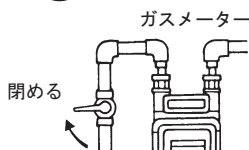
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、あけ放して換気をしてください。

⚠ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

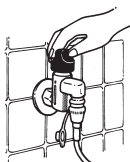
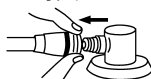
⚠ 閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ガスコード接続の場合 ゴム管接続の場合

コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く



⚠ 閉める

※外部機器と連動している場合は、P26 外部機器連動対応表をご参照ください。

■不完全燃焼ガスがなくなった場合

●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、黄のランプが消灯します。

■ 12. ガスもれの警報音声と不完全燃焼を知らせる警報音を交互に発している場合の処置(ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの点滅または点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険 火花などによる爆発または一酸化炭素(CO)中毒を起こす恐れがあります。警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

🚫 火気禁止



換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。

🚫 禁止



換気扇のスイッチ等

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

🚫 禁止

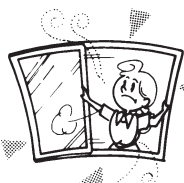
コンセント



●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気をしてください。

❗ 開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。
ガス栓、器具栓を閉めてください。

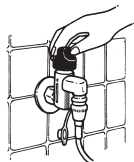
ガスコード接続の場合 ゴム管接続の場合

コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く



❗

閉める



3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りの東邦ガスへご連絡ください。

❗ 連絡する



●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。(有償)

4. もれたガスや不完全燃焼ガスがなくなれば、警報音は自動的に止まりますので、止まってから警報が鳴る原因を点検してください。

ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

❗

調べる



■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合、または一酸化炭素（CO）濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

●次の処置をしてください。

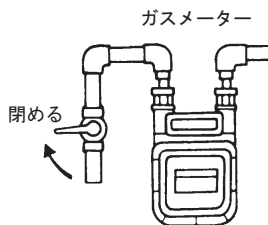
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気をしてください。

⚠ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

⚠ 閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ガスコード接続の場合 ゴム管接続の場合

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く



⚠ 閉める

※外部機器と連動している場合は、P26 外部機器連動対応表をご参照ください。

■ガスがなくなった場合

●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、赤、黄のランプが消灯します。

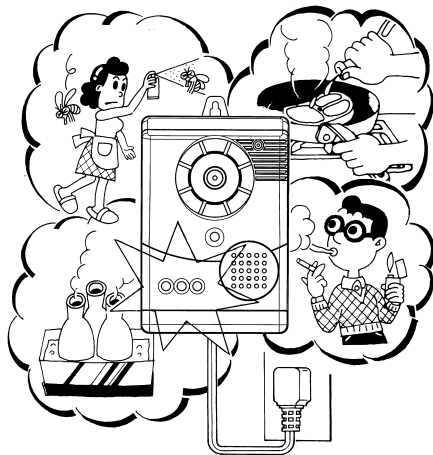
お願い

■火災以外の熱などにより警報音声が届くことがあります。警報器周辺の温度が下がれば鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

- 調理中の熱がこもった場合。
- エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。

■ガスもれや不完全燃焼（CO）以外でも次のように空気がよごれた場合などにも、赤ランプまたは、黄ランプが点滅する場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

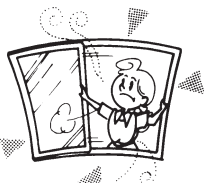
- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
- 芳香剤等の濃いガスがかかった場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。また、アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
- 長時間部屋が閉め切られていた場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- みりんや酢等の調味料成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- この他にも、可燃性の成分が作用した場合。
- 警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。通常の電圧範囲はAC 100 V $\pm$ 10 Vです。
- 沸湯器を使用中、換気が十分でなかったとき。
- ガスコンロの着火ミスがあったとき。
- 自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
- 炭火や練炭を使用したとき。



- 長い間閉め切られたお部屋に設置されている場合、建材等から発生する成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。

このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気を続けると、ランプの点滅は止まります。

ドアや窓を開けて換気してください。



■ 14. ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

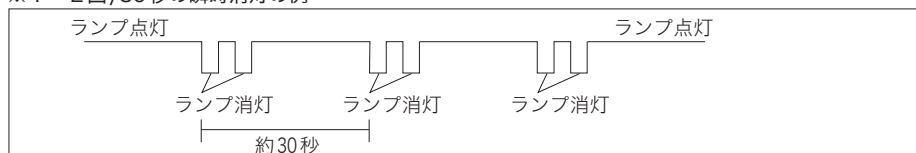
ランプ				音 声	表現している事象	対応方法
緑	黄	赤	赤 (火災)			
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	—
●	○	◎	○	なし	ガスもれ 1 段目の注意報	13 頁に記載
●	○	●	○	ガスもれ警報音声「ピッピッピッ ピッ ガスがもれていませんか」	ガスもれ 2 段目の警報	14, 15 頁に 記載
●	◎	○	○	なし	不完全燃焼 低濃度の注意報	13 頁に記載
●	◎ または ●	○	○	不完全燃焼警報音声「ピッポッピッ ポッ 空気がよこれて危険です 窓をあけて換気してください」	不完全燃焼 高濃度の警報	16, 17 頁に 記載
●	◎	◎	○	なし	ガスもれ 1 段目の注意報と 不完全燃焼 低濃度の注意報	13 頁に記載
●	◎	●	○	ガスもれ警報音声「ピッピッピッ ピッ ガスがもれていませんか」	ガスもれ 2 段目の警報と 不完全燃焼 低濃度の注意報	14, 15 頁に 記載
●	◎ または ●	◎	○	不完全燃焼警報音声「ピッポッピッ ポッ 空気がよこれて危険です 窓をあけて換気してください」	不完全燃焼 高濃度の警報と ガスもれ 1 段目の注意報	16, 17 頁に 記載
●	◎ または ●	●	○	ガスもれ警報音声「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と、 不完全燃焼警報音声「ピッポッピッ ポッ 空気がよこれて危険です 窓を あけて換気してください」の交互音声	ガスもれ 2 段目の警報と 不完全燃焼 高濃度の警報	18, 19 頁に 記載
●	○	○	●	火災警報音声 「ピーピー 火災警報器が作動しまし た 確認してください」	火災警報	12 頁に記載
●	○	◎	●			
●	○	●	●			
●	◎	○	●			
●	◎	◎	●			
●	◎	●	●			
●	●	○	●			
●	●	◎	●			
●	●	●	●			

ランプ				音 声	表現している事象	対応方法
緑	黄	赤	赤 (火災)			
瞬時消灯 1回/30秒	○	○	○	なし	ガスもれ警報履歴 (過去にガスもれ警報があったことを表示しています。)(約10日で自動復帰)	
※1 瞬時消灯 2回/30秒	○	○	○	なし	不完全燃焼警報履歴 (過去に不完全燃焼警報があったことを表示しています。)(約10日で自動復帰)	
瞬時消灯 3回/30秒	○	○	○	なし	火災警報履歴 (過去に火災警報があったことを表示しています。)(約10日で自動復帰)	
※2 高速点滅	○	○	○	※4「警報器を点検してください」 の故障警報音声	故障警報 (警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)	販売店に連絡してください。
高速点滅	○	○	○	なし	故障警報 (警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)	販売店に連絡してください。
◎	○	○	○	なし	電源投入 (停電からの復帰を含む) から30秒 内部電気回路チェック中	
ウイंक (瞬時消灯 1回/1秒)	○	○	○	なし	電源投入 (停電からの復帰を含む) から約30~90秒 内部電気回路チェック中	
※3 ゆっくり 点滅	○	○	○	なし	有効期限お知らせ表示	販売店に連絡してください。

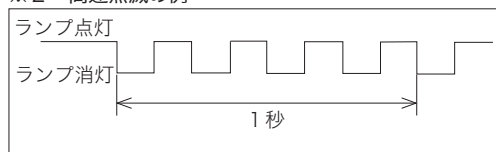
●=点灯 ◎=点滅 ○=消灯

※故障の際、上記以外の表示音声を発する場合もあります。このような場合は販売店にご連絡ください。

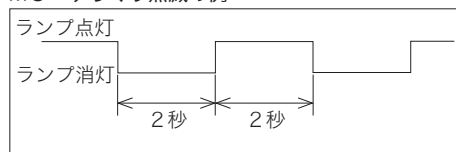
※1 2回/30秒の瞬時消灯の例



※2 高速点滅の例



※3 ゆっくり点滅の例



※4 警報器の故障時に警報音声確認ボタンを押した場合に音声でお知らせします。

■ 15. 警報器を取り付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い

■ 警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐのに効果があります。

1. コードを巻取部から引き出して伸ばし、安定した所における場合には、下記の手順で処置してください。

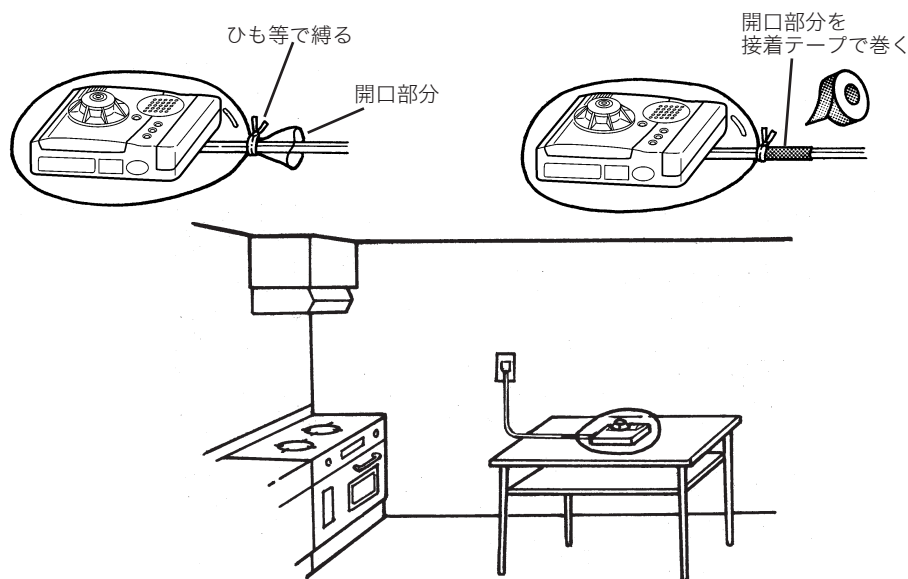
用意していただくもの

ポリ袋 ・ポリプロピレン（または> PP <表示）が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。

ひも

接着テープ

- ① 木ネジから警報器のフックを外し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定するところに置いてください。（電源プラグは抜かないでください。）
- ② 警報器にポリ袋1枚をかぶせて、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひも等で縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように接着テープ等を巻いてください。
- ③ ポリ袋を傷めないように、安定するところに置いてください。



2. 1の方法で処置できない場合は、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

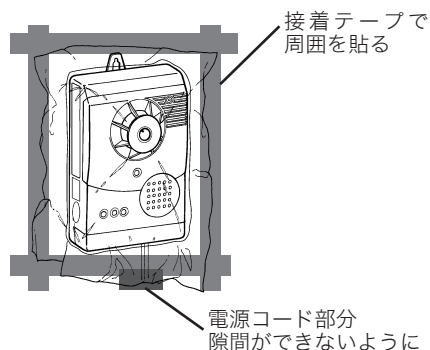
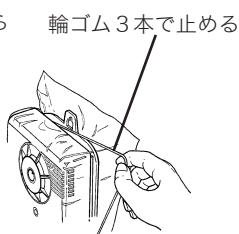
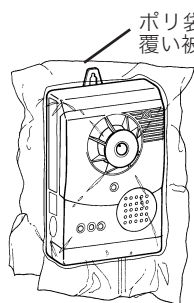
ポリ袋

- ・ポリプロピレン（または> PP <表示）が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・大きさは、30cm × 40cm 程度が適当です。

輪ゴム3本

接着テープ 壁面の状況に応じた接着テープ

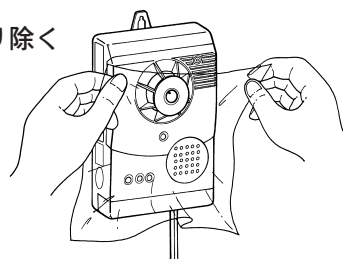
- ① ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード巻き取り部分で止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりと止めてください。
- ② ポリ袋と壁の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。ただし、壁面等の状況により貼り付けできない場合は輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。
 - ・ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分や、電源コードが通っている部分を注意してふさいでください。
 - ・接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに壁面等を傷めないテープを使用してください。



警告

- 噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。

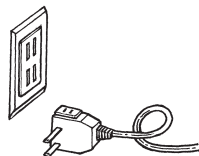
 **取り除く**



⚠ 警告

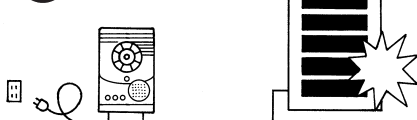
- 電源プラグは抜かないでください。
※電源を抜かれて、警報器をポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用される部屋に置かれますと、噴霧が終わって電源を入れた時に、警報器内部のフィルタに吸着された噴射ガスが脱離することにより、警報が鳴ることがあります。

禁止



- 警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。

禁止



⚠ 注意

- 警報器の壁面からの取り外し、取り付け、あるいは、壁面の警報器へのポリ袋の取り付け、取り外しは、高いところの作業になりますので、しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。
- 壁掛型警報器は、強く引っ張ると取り付けられている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器がはずれたりして、落下するおそれがあります。



お願い

- ・ 警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。
- ・ ポリ袋で覆っても次のような場合には警報器が鳴る場合があります。念のため、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤使用を、ご連絡しておいてください。
 - (1) ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
 - (2) 部屋の広さに比べて極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
 - (3) 警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。（ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため）
 - (4) 経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

■外部機器連動対応表

上段 ○：連動可能

×：連動不可能

△：警報器アダプターが必要

下段 警報音が鳴り始めてから各機器が
作動するまでの遅延時間です。

この遅延時間は連動機器によって
異なります。

警報の種類 外部出力信号 連動機器 外部出力線	警報時の動作	火災	ガスもれ	ＣＯ	備 考
		無電圧a接点 ON	DC12V	DC18V	
		赤・白線	白・灰線		
戸外ブザー	警報音が 鳴ります	×	○	○	ガスもれ、ＣＯ 警報用
移報ブザー	警報音が 鳴ります	○ 即時	△ 約45秒	△	火災警報用
マイコンメーター	ガスを 止めます	○ 即時	△ 約45秒	△	
住宅情報盤	警報表示及び警 報音が鳴ります	○ 即時	○	○	
業務用しゃ断弁	ガスを 止めます	○ 約1秒	○	○	
集中監視盤	警報表示及び警 報音が鳴ります	○※1 ※2	○	○	

※ 上記の外部機器との接続の場合には付属のケーブルが必要になります。

※1 消防設備の場合は検定品をお使いください。

※2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

【ご注意】

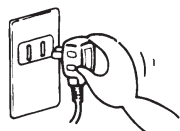
1. ガスもれ、ＣＯ警報外部出力（白・灰）は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
2. 住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
3. 連動機器では、ガスもれとＣＯの警報は判別できません。住宅情報盤、業務用しゃ断弁には判別できるものがあります。
4. 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
5. 連動機器は専用品をお使いください。（集中監視盤を除く）
6. 外部連動については、東邦ガスにご相談ください。

■ 16. 警報器のお手入れ方法

⚠ 注意

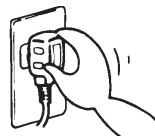
● 警報器の表面および取付け部付近の壁面がよごれたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。（警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。）

❗ プラグを抜く



● 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。（ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。）

❗ 電源プラグ シツカリと！
は確実に



お 願 い

● お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからよごれを拭き取ってください。

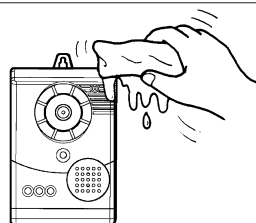
❗ よく絞ってからふく
よく絞る



水または石けん水

● お手入れの時、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

⊘ 禁止



● 警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガスもれ警報ランプ（赤ランプ）が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

⊘ 禁止



■ 17. アフターサービス

お 願 い

- この警報器は、5年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取替えいたします。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付け後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。
- 保証書に取付け年月および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がございましたら、販売店または、最寄りの東邦ガスまでご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店へご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越しの場合
 - ①引き続き使用する場合は、販売店または、最寄りの東邦ガスまでご連絡ください。
 - ②新たに引越してきた人が継続使用する場合は、販売店または、最寄りの東邦ガスまでご連絡ください。

■ 18. 仕 様

	項 目	仕 様
火災警報機能	型 名	住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器
	鑑 定 型 式 番 号	鑑ケ第16～6号
	検 知 原 理	熱感知サーミスタ式
	公 称 作 動 温 度	65℃
	外 部 出 力 信 号	a接点 無電圧 無極性(接点容量DC24V,0.5A)自動復帰式
ガス漏れ・不完全燃焼警報機能	検 知 対 象 ガ ス	都市ガス (空気より軽いI2A・I3Aガス用) 不完全燃焼排気ガス中の一酸化炭素(CO)
	警 報 ガ ス 濃 度	1 段 目 ★ 爆発下限界濃度の約1/100 低濃度 一酸化炭素濃度 50～200ppm
		2 段 目 爆発下限界濃度の1/4以下 高濃度 一酸化炭素濃度 550ppm以下
	検 知 方 式	熱線型半導体式 半導体式
	警 報 方 式	1 段 目 赤ランプ点滅(自動復帰式) 低濃度 黄ランプ点滅 約5分後危険と判断し、音声合成音(自動復帰式)
		2 段 目 赤ランプ点灯 音声合成音(自動復帰式) 高濃度 黄ランプ点灯 音声合成音(自動復帰式)
		音声合成音は切替スイッチにより音声とブザーの選択が可能 音声合成音は切替スイッチにより音声とブザーの選択が可能
	応 答 時 間	60秒以内 低濃度 15分以内 高濃度 5分以内
共通仕様	＊ 外 部 出 力 信 号	監視時 DC6V 電源OFF及びトラブル時 0V
		警報時 DC12V 警報時 DC18V
	警 報 音 量	70dB(A)/m以上
	電 源	AC100V 50/60Hz
	消 費 電 力	監視時 約1.2W 警報時 約1.5W
	使 用 温 度 範 囲	0℃～+40℃(結露しないこと)
	寸 法 ・ 質 量	幅85×高さ125×奥行き48.5mm(突起部を除く), 約300g
	電 源 コ ー ド	長さ 2.5m(約2.2mはケース背面に巻取可能) 予備コンセント付プラグ (予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下)
	付 属 品	コード振れ止め×3、取付フック×1、キャップ×1、クギ(5本 小袋入)×2、木ネジ(φ3.1×16mm 2本、φ3.1×10mm 3本 小袋入)×1、外部出力信号線×1
	ケ ー ス 材 質	PC/ABS樹脂(自己消火性)
★爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界と いって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。		
＊マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。		

施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ

■ 施工される方へのお願い

警告

1. お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。  必ず行う
2. 工事終了後に、取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。
なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続される場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検を行ってください。  必ず行う
3. 工事終了後に取扱説明書に従って、次の事項をお客様に説明してください。  必ず行う
 - (1)警報器の内容の説明（警報ランプ点灯と音声合成音）
 - ①火災警報
 - ②ガスもれ警報
 - ③不完全燃焼警報
 - ④ガスもれと不完全燃焼の同時警報
 - ⑤故障表示の説明
 - ⑥警報音声確認ボタンの説明
 - ⑦有効期限お知らせ表示の説明
 - (2)警報時のとるべき措置
 - ①火災警報時
 - ②ガスもれ警報時（部屋にいなかった場合を含む）
 - ③不完全燃焼警報時（部屋にいなかった場合を含む）
 - ④ガスもれと不完全燃焼の同時警報時（部屋にいなかった場合を含む）

■ 19. 設置前のご注意

- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

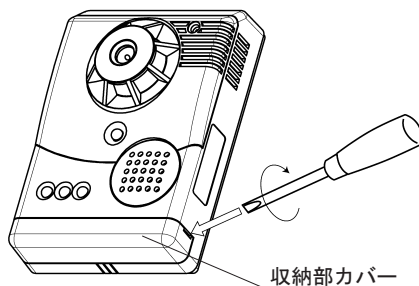
■ 警報器の確認

⚠ 注意

1. 取付ける警報器が空気より軽い12 A・13 Aガス用（火災検知・不完全燃焼警報機能付）であり、本体、電源コード等に異常のないことを **!** 必ず行う確認する。
2. 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意すること。

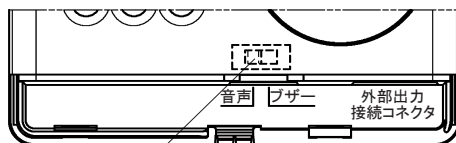
■ 収納部内部にある切替スイッチの確認

収納部カバーを下図のようにマイナスドライバを使用して開けてください。

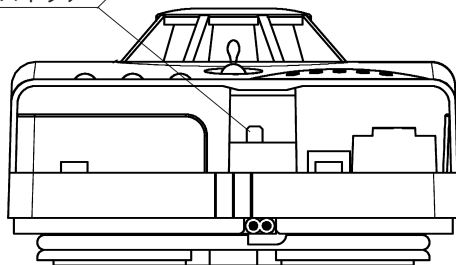


音声・ブザー切替スイッチ

- ・ ガスもれ、不完全燃焼警報及び火災警報時の警報音を音声かブザーに設定するための切替スイッチです。
 - ・ 購入時は音声設定となっています。
- ※ 警報音を切り替える場合は、警報器の電源を入れない状態で行ってください。



音声・ブザー切替スイッチ

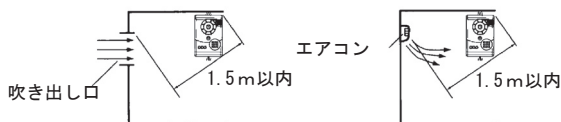


■ 20. 取付け位置の確認

●取付け位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

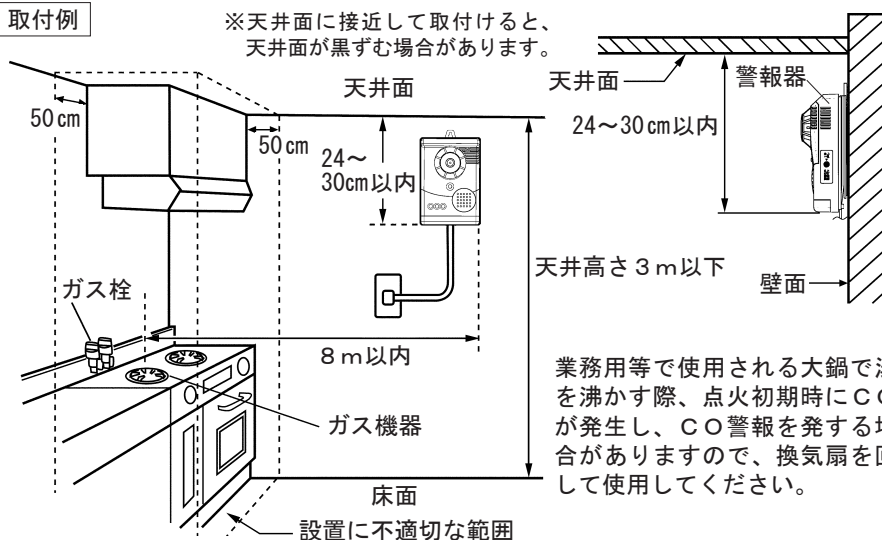
⚠ 注意

1. ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。 **！ 必ず行う**
2. もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。 **！ 必ず行う**
3. ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離 8 m 以内、天井面から 24～30 cm 以内とすること。 **！ 必ず行う**
4. アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないこと。 **禁止**
5. 換気口等の空気の吹き出し口から 1.5 m 以内には取付けないこと。 **禁止**



禁止

取付例



業務用等で使用される大鍋で湯を沸かす際、点火初期時にCOが発生し、CO警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。

※取付けおよび取付位置の移動はガス会社におまかせください。
床面積は概ね 30 m² 以下（部屋が正方形なら対角線は約 7.7 m 以下）

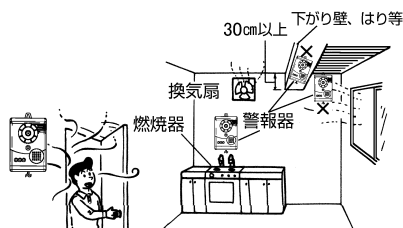
⚠ 注意

次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ
- 30 cm以上の下がり壁で区切られているところ
- エアコン等の吹き出し孔の近く



警報が遅れたり検知できないことがあります。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかる場所



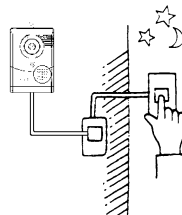
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



- 使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切る場所）



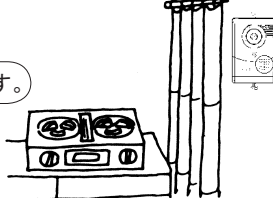
警報器としての機能を果たしません。



- カーテンウォール等で仕切られる場所



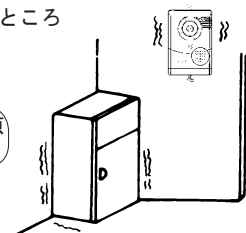
警報が遅れます。



- 振動、衝撃の激しい場所



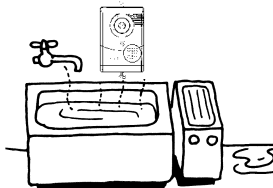
センサ故障の原因になります。



- 浴室内や水のかかる場所や水滴のつく場所



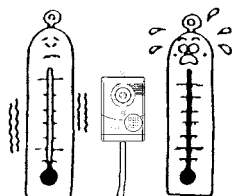
感電や電氣的故障の原因になります。



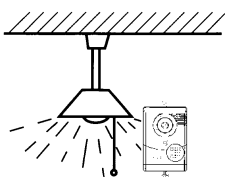
- 温度が0℃～+40℃の範囲をこえる場所



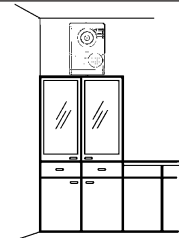
警報器としての機能を果たしません。誤動作の原因になります。



- 照明器具等が発生する熱の影響を受けるところ



- 食器棚などの上部



- 屋外



屋外用ではありません。

■ 21. 取付方法

お 願 い

1. 付属品の確認

部品イラストや写真、図などを用いて、付属品名、個数、用途などを確認すること。

2. 取付位置の確認

- (1)取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板等には取付けないこと。
- (2)壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ（市販品）を打ち込み、木ねじを使用すること。

3. 警報器の取付け

- (1)警報音は、音声又はブザーの選択ができます。
配線収納部内のスイッチにより、警報音の選択をしてください。（初期設定は音声になっています。）
※警報音を切り替える場合は、警報器の電源を入れない状態で行ってください。
- (2)警報器の取付時には、警報器を落とさないよう注意すること。

センサの断線等で正常に作動しないおそれがあります。

- (3)火災検知部のガードの中にある熱感知センサに触れないように取付けること。

センサ破壊等で正常に作動しないおそれがあります。

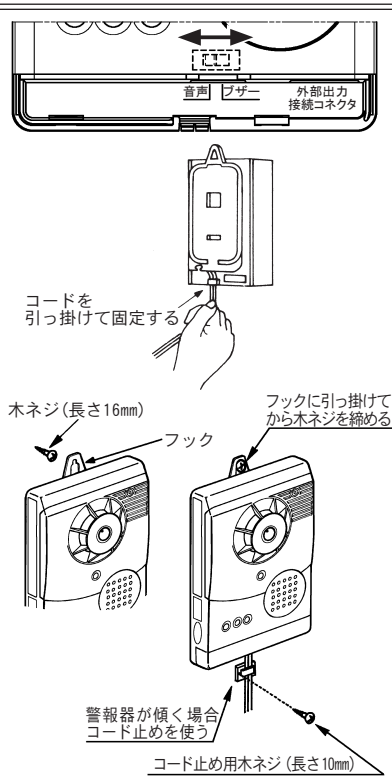
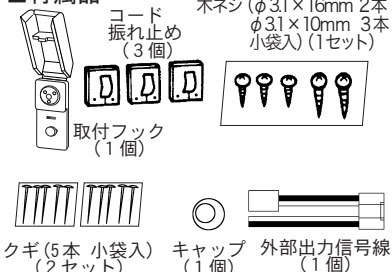
- (4)木ねじを壁面に途中までねじ込みます。
- (5)電源コードをコンセントまでの長さにあわせて取り出し、警報器のフックを木ねじに引っ掛けます。
- (6)木ねじを締め付け、警報器を固定します。

※警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード止めで警報器のすぐ下を止め、一旦コードを真下に引き出してください。

コード止めが接着だけでは弱い場合は付属の木ねじ(10mm)を使用してください。

※電源コードの固定に、市販のステッブルや釘などを使用しないでください。

■ 付属品



●石膏ボード用取付フックを使用して警報器を取付ける場合

- ①図のように取付フックの取付ピースにクギを軽く差し込みます。



警告

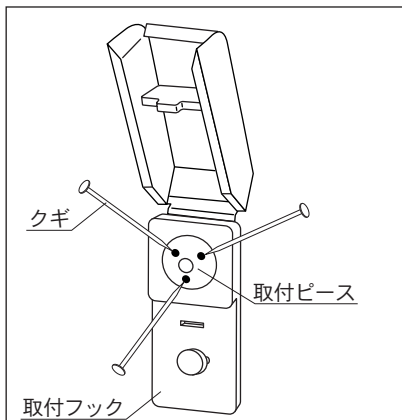
強く差すとクギが突き抜けて指をケガする場合があります。

- ②壁面に取付フックを押し当て、背面の接着テープで仮止めします。

コインなどでクギに直角に当て、クギの向いている方向にまっすぐ押し込むか、かなづちで軽く打ち込んでください。

※クギは最後まで押し込み、取付フックが固定されていることを確認してください。

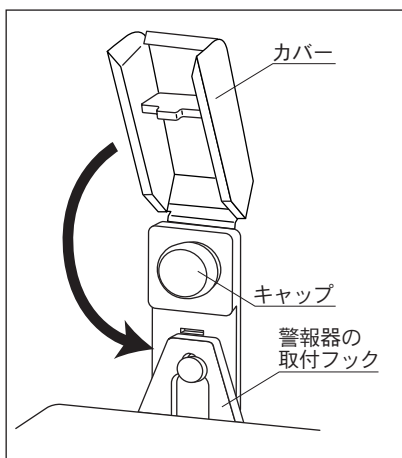
- ③キャップを被せてください。



- ④警報器の取付フックに引っ掛けて、カバーを矢印の方向へ閉じてください。

※警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード止めで警報器のすぐ下を止め、一旦コードを真下に引き出してください。コード止めが接着だけでは弱い場合は付属のクギまたは木ねじ(10mm)を使用してください。

※電源コードの固定に、市販のステップルや釘などを使用しないでください。



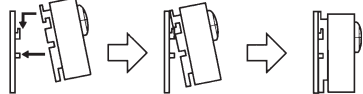
⚠ 注意

- ・ 取り付けた取付フックを手前にこじるなどの力を加えないでください。クギがゆるむ原因になります。
- ・ 一旦打ち込んだクギや取り付けたキャップを外すにはニッパ等で引き外す必要があります。取付位置の選定を十分ご確認の上、取り付けてください。

●既存の取付板に取付ける場合

取付板の上の引っ掛け部を、警報器背面に引っ掛けた後、取付板下の固定凸部に警報器を押し付けるようにして食い込ませ固定します。

警報器が確実に固定されているかどうかを確認する。



上を引っ掛けてから下の突起を押し込む

⚠ 注意

4. 配線方法

- (1)電気設備技術基準および内線規定により電源コードは、ステップルや釘等で固定しないでください。
- (2)電源コードに重いものを置かないでください。

■電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘等で固定できません。



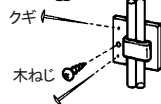
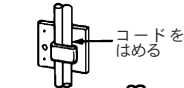
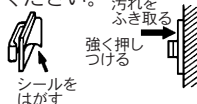
禁止



お 願 い

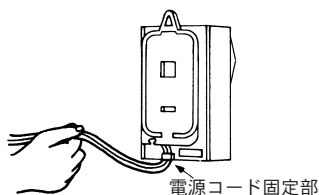
- (3)電源コードは、付属のコード振れ止めで固定してください。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、付属のクギまたは木ねじ（10mm）で止めてください。

●電源コードは付属のコード振れ止めで固定してください。



コード振れ止めが接着だけでは付かない場合、付属のクギまたは木ねじ（10mm）で止めてください。

- (4)電源コードは、コンセントまでの長さにあわせて取出し、電源コード固定部に固定してください。



- (5)外部装置との接続方法

外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施してください。

■ 22. 作動点検

お 願 い

- ガスもれ警報、不完全燃焼警報点検の場合は、点検ガス採取器（別売品）と、別にテーブルコンロなど炎からガスを採取できるものを用意してください。

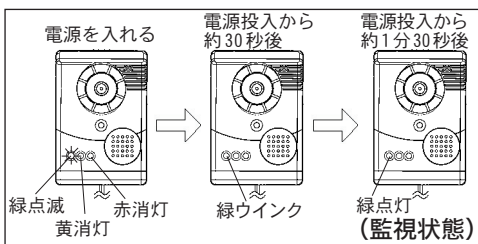
従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガス（生ガス）は使用しないでください。センサ異常または警報状態からの復帰に大変時間がかかる場合があります。



禁止

- 次の順序で動作を点検してください。

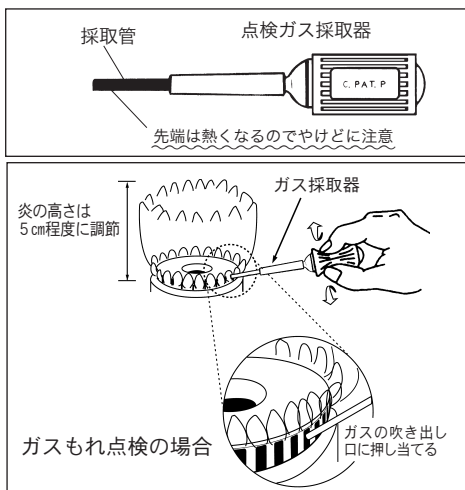
1. ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプ（緑）が点滅し、約30秒後に点滅からウインクに変わります。電源投入から約1分30秒後に点灯し、警報器が監視状態に入ります。（約30秒後に赤ランプが点滅している場合がありますが、しばらくすると消灯します。）



※緑ランプがウインクに変わった時点からガスもれ警報の点検は可能です。不完全燃焼警報の点検は監視状態に入ってから可能です。

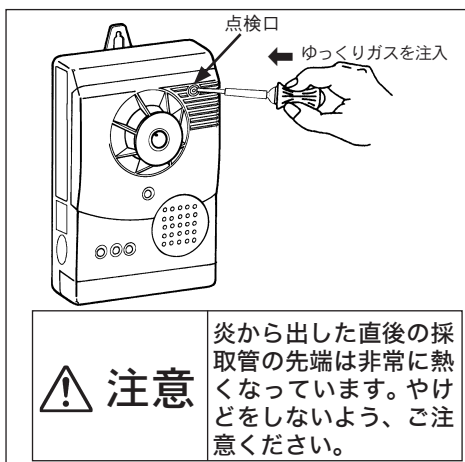
○ガスもれ警報点検の場合

2.
 - (1)ガスコンロを点火し、炎の高さを5cm程度に調整します。
（炎が小さいとガスを採取しにくくなります。）
 - (2)点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎芯部（炎の根本部分）のガス吹き出し口に押し当てます。
 - (3)容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）緩め、炎の中からガス成分を吸引します。
（長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。）
点検ガスの採取が終わりましたら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスコンロの炎を消してください。
 - (4)採取管の先端部分の温度が下がるまで（約25秒程度）待ちます。

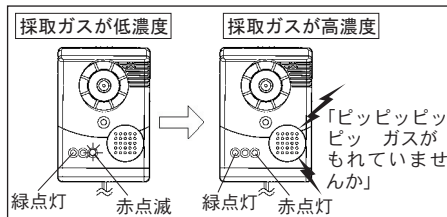


(5)電源投入から約30秒後、緑ランプが点滅からウインクに変わってから、採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。

(6)ガス濃度が低ければ赤ランプが点滅します。(1段目の注意報)
 ガス濃度が高ければ赤ランプが点灯し、警報音(「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」)が鳴ります。
 (2段目の警報)

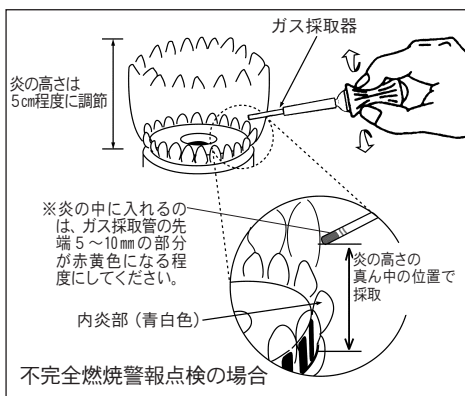


3. ガスがなくなると、赤ランプが消灯します。
 ※採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。



○不完全燃焼警報点検の場合

4.
 (1)ガスコンロを点火し、炎の高さを5 cm程度に調整します。
 (炎が小さいとガスを採取しにくくなります。)
 (2)点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の高さの真ん中の位置へ持っていきます。
 (3)容器の圧縮をゆっくり(約3秒程度)緩め、炎の中からガス成分を吸引します。
 (長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。)
 点検ガスの採取が終わりましたら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスコンロの炎を消してください。



(4)採取管の先端部分の温度が下がるまで(約25秒程度)待ちます。

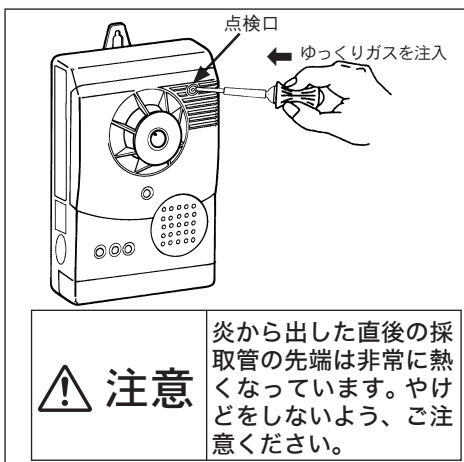
(5)電源投入から約1分30秒後に緑ランプウインクを経て、緑ランプが点灯します。緑ランプが点灯した後に、採取したガスを注入してください。

(6)採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。

(7)ガス濃度が低ければ黄ランプが点滅します。(低濃度の注意報)

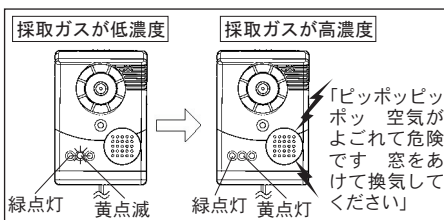
ガス濃度が高ければ黄ランプが点灯し、警報音(「ピッポッピッポッ 空気がよごれて危険です 窓を開けて換気してください」)が鳴ります。(高濃度の警報)

※黄ランプ点滅状態のまま、約5分経過した場合にも警報音が鳴ります。



5. ガスがなくなると、黄ランプが消灯します。

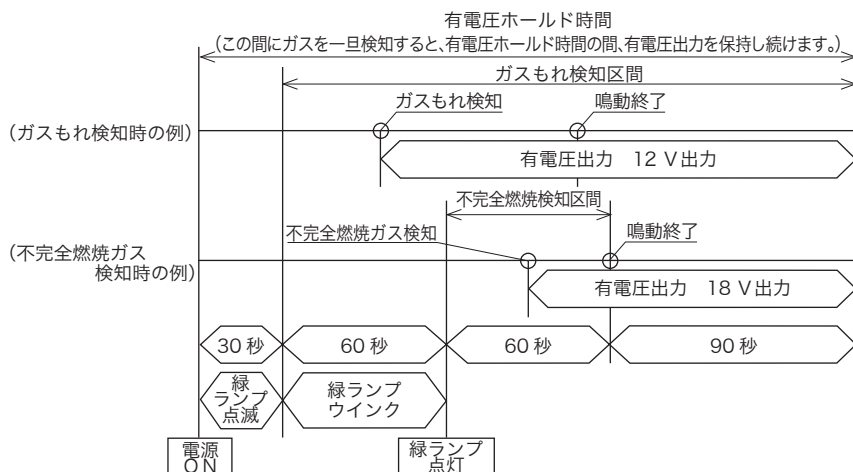
※不完全燃焼検知のセンサは、約2分30秒の周期で、ガス検知(約1分間)と、パージ(約1分30秒間)とを繰り返しています。パージ時間にガスをかけても警報動作はしません。次のガス検知時より警報動作が始まりますので、警報表示とガス注入のタイミングがずれたり、あるいは注入したガスが薄まり、高濃度警報までいたらない場合があります。



◎作動点検時における有電圧ホールド機能

有電圧ホールド時間とは、外部機器と接続されている場合に連動確認が容易にできるようにこの時間内に有電圧出力(DC12-18V)が一度出力されると、ガスが無くなり監視状態に戻ってもこの時間内は、有電圧出力(DC12-18V)が出力し続けます。

約4分経過しますと、通常の出力状態(DC6V)に戻ります。



○火災警報点検の方法（火災警報器の点検は警報音声確認ボタンでも可能です。）
※設置時のガスセンサ（都市ガス・CO）の点検は警報音声確認ボタンでは行えません。

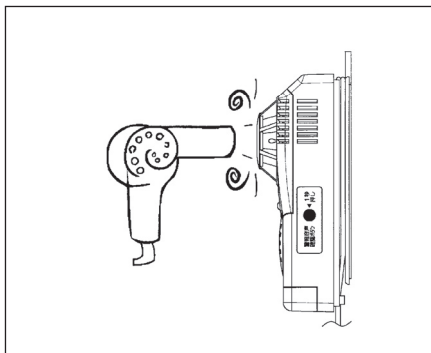
6. ヘアドライヤーを用意します。必要に応じ延長コードも用意してください。

(1)ヘアドライヤーを火災検知部に垂直に当てます。

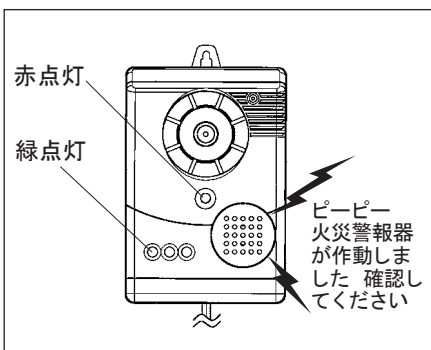
(2)ドライヤーの電源スイッチをONし、熱風を吹きかけます。

赤ランプが点灯し（緑ランプは点灯）警報音（「ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください」）が鳴ります。

※切替スイッチにより、ブザー設定にした場合（ピーピー）のみの警報が鳴ります。



7. 火災検知部周囲の温度が下がると赤ランプが消灯します。



⚠️ 注意

ドライヤーを離した直後、警報器は熱くなっています。

やけどをしないようご注意ください。

ライター等の直火で加熱試験は、行わないでください。

機器破損の原因となります。



禁止

■警報音声確認ボタン

お 願 い

警報音声確認ボタンを押すと、警報音声・ランプ表示・外部出力を行います。ガスセンサの点検は行えませんので、必ず前項に記載のガスによる作動点検を行ってください。

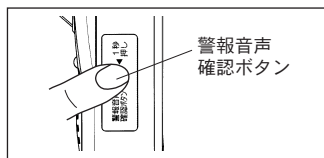
警報音声確認ボタンを1秒間押すと、以下の警報音声・ランプ表示・外部出力を行います。
※外部出力は電源投入より30秒以内に警報音声確認ボタンを押した場合に限り、出力を行い外部機器との連動確認が容易に行えます。

ガスもれ・CO警報外部出力は1分間12Vと18Vを交互（5秒毎）に出力します。

火災警報外部出力は電源投入より30秒以内は無電圧a接点がONします。

※警報器の故障時に警報音声確認ボタンを1秒間押すと、「警報器を点検してください」と音声を発しますので、販売店に連絡してください。

1. 警報音声確認ボタンを1秒間押します。

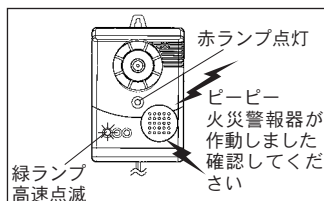


2. 電源ランプ（緑）の高速点滅、火災警報ランプ（赤）の点灯

警報音（音声合成音）

音 声：「ピーピー 火災警報器が作動しました
確認してください。」

ブザー：「ピーピー」（スイッチにて切替）

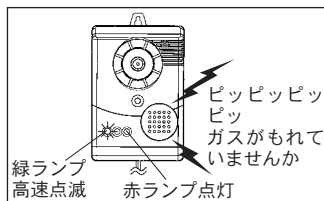


3. 電源ランプ（緑）の高速点滅、都市ガス警報ランプ（赤）の点灯

警報音（音声合成音）

音 声：「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか。」

ブザー：「ピッピッピッピッ ピッピッピッピッ」
（スイッチにて切替）

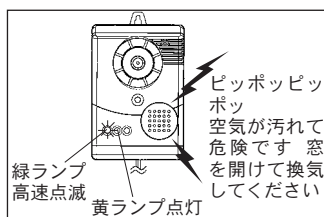


4. 電源ランプ（緑）の高速点滅、不完全燃焼警報ランプ（黄）の点灯

警報音（音声合成音）

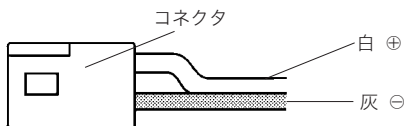
音 声：「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください。」

ブザー：「ピッポッピッポッ ピッポッピッポッ」
（スイッチにて切替）



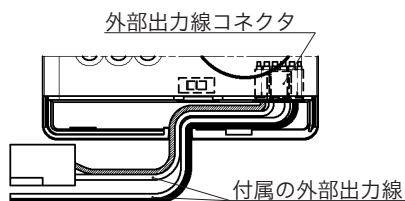
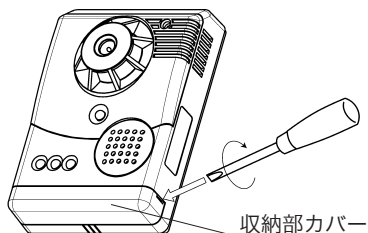
■外部装置と接続した場合の注意点及び点検方法

- 外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- ガスもれ、CO警報外部出力（コネクタ）は有電圧出力ですので、外部装置と接続する場合は注意してください。
- 火災警報外部出力（リード線・赤白）はa接点無電圧出力ですので、外部装置を接続する場合は注意してください。
負荷に発生するスパイク電圧は接点容量の定格以下でご使用ください。
接点容量：DC 24 V, 0.5 A

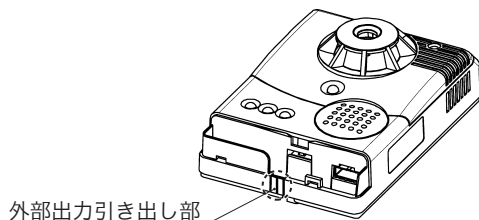


●マイコンメーターとの連動方法

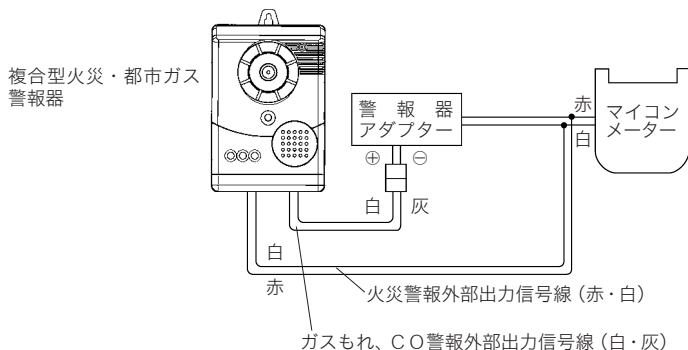
- ①収納部カバーをはずし、付属の外部出力線を外部出力コネクタに接続してください。



- ②外部装置と接続します。
- ③本体の外部出力線引き出し部を切り取り、そこから外部出力線を引き出してください。



- ④収納部カバーは本体に確実に取り付けてください。



■ お客様へのご説明内容

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - (1)火災警報の内容（赤ランプ点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
 - (2)ガスもれ警報の内容（赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
 - (3)不完全燃焼警報の内容（黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
 - (4)ガスもれ、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
 - (5)部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
（ガスもれ、不完全燃焼警報時）
 - (6)予備コンセントの容量上限値について。
 - (7)誤報が発生する場合。
 - (8)故障表示の説明
 - (9)警報音声確認ボタンの説明
 - (10)有効期限お知らせ表示の説明

■ お客様への周知事項

お 願 い

●お客様に次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。

1. 保証期間5年。
2. 警報器の有効期限を知らせる。（本体に表示）
3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。
4. 警報器の移設禁止。（移設依頼の連絡先）
5. 警報器の分解禁止。
6. 引越時の措置。



必ず行う

保 証 書

このたびは警報器をお取り付けいただき、誠にありがとうございます。お取り付けいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名 複合型火災・都市ガス警報器（不完全燃焼警報機能付）
型 番 CF-W2

1. お客さま名

お取り付け年月

おなまえ	さま
おところ	

年	月
---	---

2. 販 売 店

店 名		TEL	
住 所			

3. 有効期限

警報器本体の有効期限はお取付け後5年間です。

有効期限後の性能保証および、点検・取り替えはできません。有効期限後はぜひ新しいものとお取り替えください。

（有効期限は、機器本体ラベルに記載しておりますので、ご確認ください。ラベルの有効期限表示は西暦と月で記入されています。この有効期限までが保証期間になります。）

無償点検等の実施

- ① 取扱説明書に基づいた使用状態で、誤作動等の異常が認められた場合には、お申し出により無償点検いたします。
- ② 取扱説明書に基づいた使用状態で故障した場合には、お申し出により無償取替えいたします。

なお、無償点検・無償取替えをご希望される際は、お買上げの販売店もしくは最寄りの当社営業所へご連絡ください。

保証の適用除外

本製品は、保証期間内であっても、つぎの場合、点検または取替えは有料となります。

- ① 本製品に異常が認められない場合。
- ② 取扱説明書に基づかないで使用して生じた故障等。
- ③ 火災・天災・異常電圧・異常温度等の不可抗力による故障等。

- ④ 本製品のお買上げ販売店もしくは当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障等。
- ⑤ 当社の供給するガス以外に使用した場合の故障等
- ⑥ 取付位置の移動、落下、衝撃等による故障等
- ⑦ お買上げ後に分解、改造等が行われた場合の故障等
- ⑧ 本証書のご提示がない場合

〈ご注意〉

本証書によって、お客さまの民法上の権利を制限するものではありません。

本証書の“お取り付け年月”“販売店”欄に記入のないものは無効ですから必ずご確認ください。

保証履行者 東邦ガス株式会社

〒456-8511
名古屋市熱田区桜田町19番18号

保証責任者 新コスモス電機株式会社

〒532-0036
大阪市淀川区三津屋中2-5-4

お問い合わせ先一覧

●お電話でのお問い合わせ

ご連絡は、平日の午前9時から午後7時までをお願いします。

- ①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区のお客さまは「お客さまセンター」でお電話を承ります。
また、4支社地区の営業所にお電話いただきますと「お客さまセンター」につながります。
- ②三重支店地区、岐阜支店地区、岡崎支店地区のお客さまのお電話は各支店・営業所で承ります。

東部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
千種区 昭和区 名東区 天白区	052-781-6131	星ヶ丘
豊田市 藤岡町 三好町	0565-32-3070	豊田
瀬戸市 尾張旭市	0561-82-6105	瀬戸
日進市 東郷町 長久手町	052-802-1234	日進
北部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
北区 東区 西区 守山区 師勝町 豊山町 西春町	052-902-1111	北
春日井市	0568-31-6144	春日井
小牧市 岩倉市 犬山市 大口町 江南市 扶桑町 可児市 多治見市 土岐市	0568-73-1551	小牧
西部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
中区 中村区 中川区 港区 新川町 清洲町 西枇杷島町 春日町 大治町 七宝町 美和町 甚目寺町 津島市 佐織町 蟹江町 飛島村 十四山村 木曽岬町 長島町 大安町 員弁町 一宮市 木曽川町 稲沢市 平和町 祖父江町 尾西市 羽島市	052-471-1151	中村
	0586-73-0101	一宮
南部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
瑞穂区 南区 熱田区 緑区 豊明市	052-821-7141	笠寺
刈谷市 知立市 安城市 西尾市 蒲郡市 高浜市 碧南市	0566-21-1647	刈谷
半田市 武豊町 阿久比町 東浦町 常滑市	0569-21-1526	半田
東海市 知多市 大府市	0562-32-2101	東海
三重支店地区：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
四日市市 桑名市 鈴鹿市 朝日町 川越町	0593-53-9151	四日市
津市 久居市 安濃町 河芸町	059-228-7161	津
伊勢市 御園村	0596-28-9101	伊勢
松阪市 嬉野町 三雲町	0598-51-5518	松阪
岐阜支店地区：サービスエリア（市区町村）	電話番号	支店・営業所
岐阜市 笠松町 柳津町 岐南町 北方町 糸貫町 真正町 瑞穂市 大野町 山県市	058-272-2166	岐阜
各務原市	0583-84-0588	各務原
岡崎支店地区：サービスエリア（市区町村）	電話番号	支店
岡崎市 音羽町 幸田町	0564-21-2231	岡崎

●FAXでのお問い合わせ

- ①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区
お客さまセンター FAX(052)847-1940
- ②三重支店地区 四日市営業所 FAX(0593)52-3150
津営業所 FAX(059)228-7176
伊勢営業所 FAX(0596)28-8176
松阪営業所 FAX(0598)51-8344
- ③岐阜支店地区 岐阜支店 FAX(058)276-3845
各務原営業所 FAX(0583)70-0466
- ④岡崎支店地区 岡崎支店 FAX(0564)21-3635

※電話番号については、平成16年8月現在のものであります。ご通知なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。